

1. 献金 4,000円(幼稚園保護者)**2. 献品** 高校職員 天使園

女性用オーバー1 スカート2 ジャケット2 エプロン3 毛布4
トレーナー上下2 Tシャツ4 ポロシャツ9 セーター4 長靴2
ベンチコート3 オーバー類3 タオルケット5 米2kg×2

★お願い……お米類など時々私(覚)の椅子の上などに献品者不明のまま置いてあります。私は献品も献金もお預かりした方に炊き出し主催者から受取証をもらって送付等をしています。名前は出したくないというお考えの方ならそれでも結構です。確かにお受け取りしたという報告をこの通信が兼ねているつもりです。でももし差し支えございませんでしたら、個人名報告はせず所属部署等の紹介だけにしておりますのでお知らせください。

3. 夜回り(4月5日)

昼間降っていた小雨があがらずに、寒い晩だった。ホカロンをして息子と出た。「Oさんは、飽きたのかな?」「2〜3ヶ月したらまた来るんじゃない」と息子。なるほど…。教会に7時半過ぎの遅い着。いつも申し訳ない。ご婦人パワーでほとんどできあがった後だった。ボランティア夕食定番のシーフードヘルシーカレーが息子は苦手で、またご飯ばかり食べていた。

跡付丁児童公園は小雨にけぶり、外灯下のベンチには濡れた荷物だけが置いてあった。

スポーツセンターは立ち入り禁止になっており、いよいよ工事に入る様子。車は国際センター向かいの路上に止め、徒歩でセンターの裏手に向かった。いつものベンチに今日も一人寝ている。この人の起きているのに会ったことはだいぶ以前に確か一度きりである。周囲を遮断するようにいつも全身をがっちり衣類で覆っている。トイレ脇の橋の下にある洞窟は足場を照らしただけで降りてゆくのを断念した。「こんな所にいるのは人に来てほしくないからなんじゃない?そうでなきゃもっと勾当台とかにいるはずだよ」と、息子。

旧図書館。Kさんは年金受給ホームレス。訪問する他のボランティアに、顔見知りのいない場所の住みか探しを今頼んでいるところとのこと。Oさんは元気がボヤキが出た。「最近エサが取りにくい。食べられない日が続く。行政の指導で営業ゴミの管理がコンビニに徹底されて、ゴミ箱が施錠されているため、エサにありつけない。冬場マルマルだった人たちも今はガリガリになっている人が多く、しかも人数も減った。……」Oさん55歳。ホームレス歴6年半。支援センターに入るや否や決定がつかない、と言う。「大丈夫ですよ」と、息子が応えた。その息子は帰りの車中では「自分次第じゃない」と言っていた。Sさんの風邪はすっかりよくなっていた。「先月はひどかった。市立病院に行つて薬もらって飲んだらよくなった」と言う。

勾当台公園は新しいコースにはなし。MさんやおしゃべりのWさんにあえないのは寂しい。10時半に帰宅した。

4. 炊き出し(4月8日)

朝からあやしい空模様。準備が出来て運び出す頃にはすっかり雨脚が目についた。それに寒い。五橋公園では木の間にビニールシートで屋根を張る。悪天候の時には皆さんの出も悪いが、それでも50人(女性0)の参加。小雨振りしきる中、スタッフもその場で昼食をとった。おむすびも思いっきり雨水の入った豚汁もおいしくて、体が温まった。衣類は一人3点の手渡しにしてぐるぐる回る形式をとった。心強いのは炊き出しになると必ず手伝いに来る元ホームレスの人たちだった。

5月の炊き出しは13日です。献品ありましたらお願いします。